



# あかまつ

令和4年度

第42号

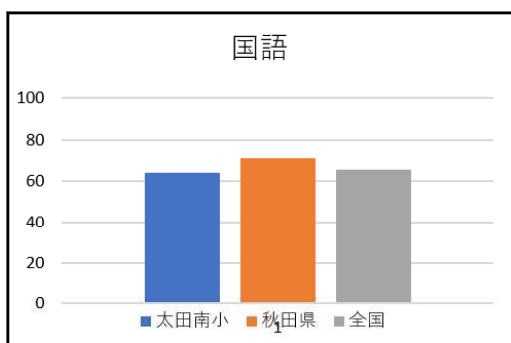
令和4年10月26日

《学校教育目標》 夢に向かって 本気で チャレンジ! 笑顔の花さく 南っ子

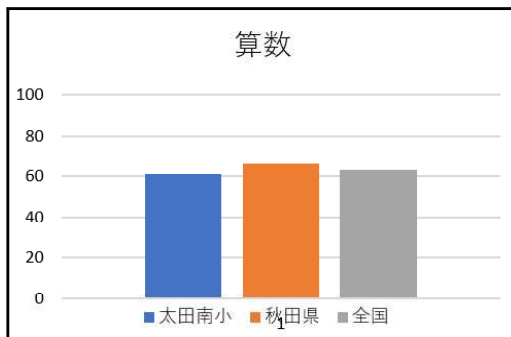
## R4 全国学力・学習状況調査の結果について

小学校6年生と中学校3年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査（4月19日に実施）の結果が公表されております。秋田県はすべての教科で全国の平均正答率を上回り、今回も全国トップ級の成績でした。

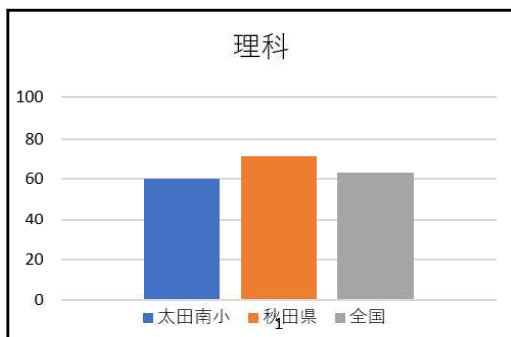
少し遅くなりましたが、国語・算数・理科の結果と簡単な分析を載せましたのでご覧ください。（裏面には質問紙の結果と簡単な分析）



国語の全14問中3問は80%以上の高い正答率でしたが、「登場人物の行動や気持ちなどについて叙述をもとに捉える問題」が50%、「文章に対する感想や意見を伝え合い、文章のよいところを見つける問題」が36%と低い数値を示しました。全体的に【言葉の特徴や使い方に関する問題】と【言語に関する事項】は概ね満足の数値となりましたが、【書くこと】【読むこと】に関して課題がありました。



算数の全16問中4問は80%以上の高い正答率でしたが、「目的に合った数の処理の仕方の考察」が27%、「果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの果汁の割合を問う問題」が23%と低い数値を示しました。全体的に【数と計算】や【図形】よりも、【変化と関係】と【データの活用】に関して課題がありました。



理科の全17問中2問は80%以上の高い正答率でしたが、「光の性質をもとに、鏡を操作して指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ問題」が27%、「問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書く問題」が27%と低い数値を示しました。全体的に【生命】や【地球】よりも、【エネルギー】と【粒子】に関して課題がありました。

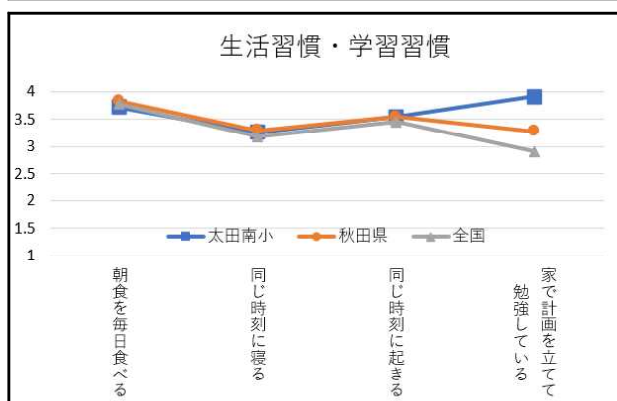
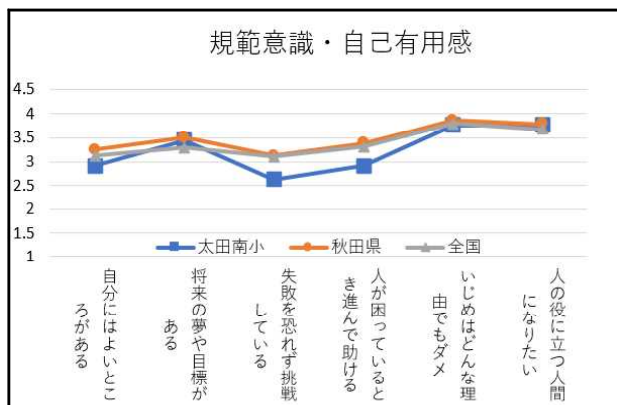
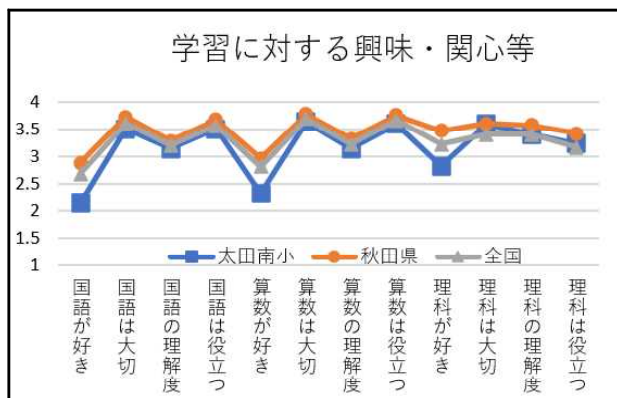
6年生の授業を見ていると、全員が真剣に学習に向かっていますし、週に2回一人勉強ノートを見せてもらっていますが、漢字や計算練習は全校テストの取組やそれ

に向けての一勉ノートのがんばりが表れていると感じます。

国語における【読むこと】【書くこと】を充実させることはもちろん、算数では【割合の意味】、理科では【実験結果から分かること（考察）】や【課題に対するまとめ】を子どもたち一人一人が言えるようにしっかり指導していく大切さを痛感したところです。低学年から大切にしたい力です。

引き続き、全国学テの結果をお知らせします。こちらは学習状況や生活状況を見る質問紙（アンケート）の結果です。このアンケートは、大きく分けると【学習に対する興味・関心】【規範意識・自己有用感】【生活習慣・学習習慣】の3観点について、69の設問を通して学級・学年の傾向を見ようというものです。

69問の中で、上述の3観点に関連する主な設問について県・全国と比較したのが下図の折れ線グラフです。これは、設問に対する回答の「当てはまる」を4票、「どちらかといえば当てはまる」を3票、「どちらかといえば当てはまらない」を2票、「当てはまらない」を1票として、全体を平均値で表したものです。



【学習に対する興味・関心】は、「〇〇（教科名）は大切か」や「授業内容がよく分かるか」という理解度を問う項目に関して県・全国と比べてそれほど差はありませんが、「〇〇（教科名）が好き」という質問に対して、ポイントが低くなっていることが見て取れます。国語や算数、理科が「好き」と思えるような学習指導の工夫をもっともっていき必要があると感じました。

【規範意識・自己有用感】は、規範意識については高いポイントを示していますが、「自分にはよいところがある」「難しいことでも失敗を恐れず挑戦している」「人が困っているときに進んで助ける」の自己有用感や積極性を問う項目の数値が低くなっており、これまで以上に物事に積極的に取り組んだり、自信をもって取り組んだりする姿勢を育てていく必要性を感じています。「成功体験を積んで」「周りから認められること」とともに、「失敗から学ぶこと」「そのチャレンジ精神（本人の頑張りの過程）を褒めてあげること」を大切にしていきます。南っこグループや児童会でリーダーシップを発揮することや互いに認め合うという活動はコロナ禍であっても大切にしていかなければと痛感しているところです。

【生活習慣・学習習慣】では、生活習慣を問う3項目が、県・全国とほぼ同じような傾向です。規則正しい生活となるようにご家庭の皆様にご力添えいただいていることに感謝申し上げます。家で計画を立てて勉強しているの項目が県や全国よりも抜きん出ており、毎日の家庭学習を怠らず地道にがんばっていることが分かります。しかし、クラブには表しませんでした。普段（月曜日から金曜日）の平均の家庭学習の時間が1時間以上と答えた割合は本校が36%（県70%、全国59%）でした。集中して学習機に向かう時間を1時間以上確保していくことを子どもたちに呼びかけていかなければならないと感じます。高学年は4月当初に勉強時間は【10分×学年の数 プラス10分】と担任から話があったと思いますので、5・6年生だけの話ではなく、改めて全校で勉強時間の確保について指導していきたいと思っております。ご家庭でも見届けをよろしくお願いいたします。また、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマホを使ったゲームも含む）をしている時間について、月曜から金曜までの平均が2時間以上と答えた子が64%（県は46%、全国は50%）となっており、割合が高くなっています。6月28日のあかまつ特別号でもお知らせしたように、スマホやゲームは、昔と比べて『体力』『視力』『学力』『コミュニケーション能力』を減少させていることが言われております。ゲーム上のトラブルも実際に本校でもありましたので、どうか6年生に限らず、子どもたちの利用の実態を把握していただき、望ましい生活習慣や学習習慣について話し合っただけければと思います。

集中して学習機に向かう時間を1時間以上確保していくことを子どもたちに呼びかけていかなければならないと感じます。高学年は4月当初に勉強時間は【10分×学年の数 プラス10分】と担任から話があったと思いますので、5・6年生だけの話ではなく、改めて全校で勉強時間の確保について指導していきたいと思っております。ご家庭でも見届けをよろしくお願いいたします。また、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマホを使ったゲームも含む）をしている時間について、月曜から金曜までの平均が2時間以上と答えた子が64%（県は46%、全国は50%）となっており、割合が高くなっています。6月28日のあかまつ特別号でもお知らせしたように、スマホやゲームは、昔と比べて『体力』『視力』『学力』『コミュニケーション能力』を減少させていることが言われております。ゲーム上のトラブルも実際に本校でもありましたので、どうか6年生に限らず、子どもたちの利用の実態を把握していただき、望ましい生活習慣や学習習慣について話し合っただけければと思います。